

株式会社ジェイコム千葉 八千代局 放送番組審議会 概要

平成 23 年度の放送番組審議会は 2012 年 4 月 4 日(水)に八千代局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

小澤 瑞穂様 金子 寿次様 酒井 礼子様
佐藤 淳一様 清宮 達三様 高山 弘江様
西村 文明様

事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(番組ガイドの構成について)

委員 J:COM チャンネルの番組ガイドは、現在、それぞれの番組ごとの構成となっている。この構成だと、いつ、どの番組で八千代市を取り上げているのかがわかりにくい。知りたいのは八千代市の話題なので、ガイドの構成にもそれがわかるような工夫がほしい。同様に八千代市の話題をホームページに掲載するよう検討してほしい。

事業者 とても参考になるご意見をいただいた。番組の情報提供の手段としては番組ガイド誌とホームページがある。現状はご指摘のとおり八千代市をはじめとしてそれぞれの地域ごとになっていない。視聴者としては、やはり地元に興味や関心があると思う。ページ数を増やすとコストがかかってしまうので、兼ね合いを検討しながら可能性を探っていきたい。

(ハイビジョン化について)

委員 「小中学校の総合体育祭」などを取材していただき嬉しく思う。記念に残るようなすばらしい番組である。せっかくよい番組なのに画像が荒かったように思う。J:COM チャンネルがハイビジョンになる予定があるかどうかを伺いたい。

事業者 10CHは既にハイビジョン映像で放送している。11CHは今年の 10 月までにハイビジョン化ができるよう準備をすすめているところである。しばらくお待ちいただきたい。

(番組編成について)

委員 八千代局開局の当初、「J:COM は地元の応援団だ！」というキャッチコピーを聞いていた。しかし、木更津、浦安、柏の千葉県内他市や関東広域の編成となったことで、地元への意識が希薄になってきていると思う。八千代市を取り上げる機会が明らかに減っている。番組制作の効率化はできるのだと思うが、それはそれとして、地元のニーズに応えるため編成には一考が必要であろう。

事業者 「地元の応援団」は現在でいうと「人が主役」というコンセプトにあたる。これは継続して取り組んでいかなければいけないことと理解している。千葉県内他市と八千代市は放送システムがひとつに統合されている関係もあり、同様のご指摘は各方面からいただいている。できる限りそれぞれの地元の情報を取り上げられるように編成を強化していきたいと考えている。東日本大震災の際、それぞれの地元の情報が流せなかったこともあり、災害時の情報を発信するシステムなど、全体の体制の中で整備していけるように努力していきたい。

委員 東日本大震災の際の計画停電の情報は、J:COM チャンネルで放送するのが一番よいと思った。災害時に現地に行ってもらおうとは思っていない。国、県、市から集めた情報を八千代市に特化して放送してもらえればよい。放射能情報、被災地の方たちの受け入れ、市の施設の開放状況などを放送できるかも含めて検討してほしい。

委員 八千代市は他の地域とネームバリューが違うので、なかなか外に向けて宣伝しにくいところであるのかもしれない。

(災害、鉄道遅延情報の送信について)

委員 午前 11 時と午後 8 時 30 分に『やちよNAVi』の放送がある。夜の放送回では他に見たい番組がたくさんあるから J:COM チャンネルに合わせられないことが多く残念である。計画停電の情報はとても助かった。八千代市は京成電鉄や東葉高速鉄道が市民の足として重要なので、ホームページや電話サービスを活用してリアルタイムで鉄道遅延情報を伝えられないか検討してほしい。

事業者 今年、災害情報や鉄道遅延情報を即時送信できるような、L字型画面のシステムの導入を検討している。現在の方法だと、計画停電の情報などは自動的に画面に掲載されるものではなく、担当者が文字を打ち込まなければならなかった。L字型画面のシステムであればこれらが解消される見込みである。

(加入可能世帯数と視聴可能世帯数の違いについて)

委員 加入状況で説明があった「加入可能世帯数」と「視聴可能世帯数」の違いはなにかをもう少し詳しく伺いたい。

事業者 「加入可能世帯数」とは、八千代市内にケーブルテレビ網がはりめぐらされていて、それを引き込めばいつでも加入が可能な世帯数ということになる。「視聴可能世帯数」は、多チャンネルの加入世帯に、集合住宅内の未加入世帯や電波障害などによって接続している世帯を加えた総世帯数である。これが J:COM チャンネルがいつでも視聴できる世帯数となっている。

(個人情報保護について)

委員 「総合体育祭」の撮影の件で質問したい。以前、個人情報保護の観点から個人を特

定できないよう、撮影に配慮することになっていた。その後、クローズアップ画面も可能になって、番組の内容がとてよくなった。クローズアップ画面の可否についての問い合わせや意見があったかどうかを伺いたい。

事業者 まずは番組にご好評をいただき感謝したい。クローズアップ映像に支障があったとのことご意見はいただいている。教育委員会の配慮によって、クローズアップを控えたこともあった。打合せの段階で取材先の各団体に事前に申し入れたことで撮影が可能となった。八千代市役所がプライバシーに配慮している点は十分に承知しているので、次回も同様に対応していきたい。

委員 八千代市役所は、番組制作に関してかなりプライバシーに配慮している。一般公開されているイベントを J:COM チャンネルで映像化するのは可だとしても、それをリポート放送で継続して視聴できるとなると問題になるのではないかという解釈もある。この点に関しては教育委員会も思慮を重ねているところかと思う。

(情報の共有について)

委員 情報の共有について伺いたい。J:COM チャンネルで地域のニュースをタイムリーに発信するのは大変だと思われる。なにもテレビ媒体にこだわることはない。八千代市に向けたホームページへの掲載、J:COM フォンでの情報ボックスのようなテレフォンサービスを立ち上げ、情報を共有し活用してはどうか。3 サービス加入のメリットをより訴求できると思う。

事業者 八千代市に特化した地域情報をいろいろな媒体で伝えるツールとしては、データ放送、インタラクTV、L字システムとテレビサービスだけでも 3 種類ある。これらを含めてどうすれば効率よく情報提供できるかを検討している。スマートフォンやタブレット型端末などの新しい媒体も増えてきている。ジェイコミュニティのホームページは番組の紹介が主たる目的となっている。現在は、タイムリーな情報発信ができるようにはなっていない。J:COM フォンの情報ボックスに関しては要望があった旨を関係部署に伝えて検討できるようにしたい。

(八千代市行政との連携について)

委員 地域密着を基本としているようだが、八千代市行政との連携は、広報番組の『やちよNAVi』だけである。議会中継がなくなってしまった。行政との連携が希薄になってしまったのが現状だと思うが、今後の展望はどうなっているのか伺いたい。もっと J:COM から行政への働きかけが必要である。八千代市役所には 4 月に「コミュニティ推進課」という部署ができた。これとの連携を視野にいれてすすめてほしい。

事業者 全国の J:COM 局の 50 局において関係行政はかなりの数になる。いろいろな形態の広報番組がありそれぞれ評価をいただいている。議会中継に関しては、昨年度まで受注していたが、八千代市の意向でインターネット配信に変更になった経緯がある。

(八千代市議会中継について)

委員 J:COM チャンネルで議会中継をすることになった当時は、「市議会が変わる」、「市議会が活性化する」、「質問する議員が増える」と聞いていた。テレビによる議会中継のよいところは、何かをしながらでも見られることである。インターネット配信となると、よほど内容に関心がない限りは見ることはないのではないかと思う。個人的には『やちよNAVi』に関心をもっている。参考になる番組であり、よく作ってあると思う。長時間にわたりすべて中継することができないならば、ダイジェスト放送でもよいから、J:COM チャンネルで市議会を放送してほしい。

事業者 市議会のインターネット配信は、パソコンの所持や操作が関係するため、視聴できる世代が限られてしまうと思われる。

(英語 外来語のカタカナ表記について)

委員 年齢が高くなってくると、英語(外来語のカタカナ表記)がわかるかわからないかによって、どうしても情報の理解度に差ができてしまう。J:COM チャンネルでの表現はやさしい言葉でわかりやすく伝えるよう心がけてほしい。そうすることで高齢者にも、もっと視聴してもらえるようになると思う。

ZAQ=「ずっと 安心の クオリティ」は、ZAH=「ずっと 安心の 品質」などであれば、誰でも理解できるのではないだろうか。

以上